

平成30年度第1回中井町環境審議会

開催日時 平成30年7月19日 9時30分～11時10分

開催場所 中井町役場 3階 3A会議室

出席委員 和田信雄、尾上文男、小清水招男、加藤幸一郎、平井喜義
田丸重彦、人見孝、米山伸

事務局 武井環境上下水道課長、井上工務班長、朝倉主査

1 開会

環境上下水道課長 本日はお忙しい中、中井町環境審議会にご出席いただきありがとうございます。

本日の会議では環境基本計画に位置付けますP D C Aサイクルに基づき、計画に掲げる施策について、推進委員会による評価を踏まえ、皆様から総合的なご意見をいただくことで効率的な計画の推進を図っていきたいと考えています。

また、本年度で計画期間の10年が終了することから、これまでの審議会で頂いた意見等を参考に、社会状況の変化や計画の推進状況を勘案し次期計画を策定していきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

2 あいさつ

町長

日頃から環境行政へのご協力へ感謝いたします。

新しい委員2名については、委嘱状を机上に配布させていただきました。

町ではかけがえのない地域環境を次世代へ引き継いでいくため、平成21年度に環境基本計画を策定し、環境への負荷の少ない持続可能なまちづくりに取り組んでいるところです。

本年度で10年の計画期間が終了となり、本日は次期計画の策定に向けた第1回の審議会です、引き続き委員の皆様のご協力をお願いします

環境上下水道課長

なお、本日は委員12名の内8名にご出席を頂いており、中井町環境審議会規則第4条第2項に規定されています「委員の半数以上の出席」を満たしていることから審議会が成立することを報告いたします。

それでは議題に入りたいと思います

審議会の規則により会長が議長となりますので、田丸会長に進行をお願いします

3 議事

(1) 中井町環境基本計画の点検・評価について（資料1～3）

事務局より、環境像別に資料に沿って説明。

【質疑】

●自然環境

和田委員

施策番号7番「ふれあい農園整備事業」について、一時期利用者が少ないと聞いていたが、現在の利用状況はいかがでしょうか。

事務局

29年度実績で全152区画中136区画の利用となっています。
27年度は全区画が利用されていましたが、減少傾向です。

平井委員

富士見台、井ノ口、境と農園ごとの利用状況は分かりますか。

事務局

井ノ口は利用者を町民に限っており空いている。
境は町外からの利用者で人気が高い状況です。

田丸会長

他の自治体と比べると利用料も安いですから、荒廃地対策の面からも続けてください。

人見委員

施策番号10「親水空間創造事業」につきまして、進捗状況、有効性・必要性、優先性は変わっていませんが方向性が上がっているのは何故ですか。

事務局

推進委員会から施策番号10番「親水空間創造事業」と11番「水辺保全サポーター事業」について、「河川整備が進捗しない中、安全に配慮し、現在の河川環境で出来る事業を推進されたし。」との意見がされています。

河川の整備というハード面の事業のみで考えると事業が進捗していませんが、ソフト面の事業と合わせて、今在る環境の中で事業を推進していくという評価です。

加藤委員

長く行っていなかった中村川の万年橋付近の河床整理がされ、河川に降りる階段に人が歩けるようになったことも評価の要因ではないでしょうか。

平井委員

藤沢川も河床整理を行っていますか。

事務局

下流側は行っています。

平井委員

下流側は護岸が整備されていますが、上流側を実施していただきたい。

人見委員

子どもたちの環境学習等に河川を利用することならば、土木工事とは別に浚渫や草刈りなどの手伝いをしますので、県環境部へお知らせください。

和田委員

藤沢川の久所地区では川を歩いて渡れるようになっており子供が日常的に川で遊んでいる。

他にももっとそうした場所があればと思います。

平井委員 水がきれいになっており、魚もいて、川で遊ぶ子供が増えてきています。

加藤委員 和田委員の言われる箇所は橋が遠く、川を渡りやすいように県が配慮して作ったものです。

田丸会長 事業の統合も含め、次期計画に活かしていくということで前向きに捉えて、当審議会においても推進委員会の意見を追認したいと思います。

●生活環境

田丸会長 施策番号18「下水道整備事業」19番「下水道接続促進事業」について、整備は進んでいるが接続率が上がっていないようですが、町としては接続率向上にどのように取り組んでいますか。

事務局 現在の接続率は人口で67%、戸別で75%となっています。
下水道に接続することで住環境の向上に繋がると考えますが、工事費もかかることから、未接続者に通知するなど個別に呼びかけているところです。

田丸会長 施策番号14「砂塵公害対策事業」について、推進委員会による評価シートの中でも見直しといった意見があり、「継続実施すべき事業」との評価で良いでしょうか。一度「改善・見直しを行うべき事業」としても良いかと思いますが。

人見委員 賛成です。ご検討をお願いします。

田丸会長 次期計画への申し送り事項として整理してください。

事務局 分かりました。

人見委員 施策番号24「まちづくり条例制定事業」について、他法令で対応できる場合は良いのですが、対応できない中井町独自の課題が有るのでしょうか。

事務局 町では開発指導要綱が有りますが、要綱なので強制力は弱いです。
現在は要綱に沿った形で開発がされているが、従わない事例が発生した場合に課題が有ります。

田丸会長 評価シートでは要綱でまだ対応できるという考えですね。

加藤委員 本計画当初と今ではまちづくり条例そのものの意味が変わってきています。

当初は開発への規制といった意味合いが強かったと思います、近年はどういうまちづくりをするかといった概念的なものもあり、具体化するのが難しい状況ではあります。

●循環型社会

人見委員 施策番号25「不法投棄対策事業」について、進捗状況が下がったのはどのような理由でしょうか。

事務局 単年度毎の目標値は達成しているが、計画の最終目標である不法投棄量2トンの達成が難しいため、進捗が下がっています。

人見委員 不法投棄量の最終目標値を2トンとしているが、これでは2トンは許容することとなりますので、ゼロを目標としていただきたい。
県としても協力します。

事務局 分かりました。よろしくお願いします。

田丸会長 点検・評価シートの中で建設廃材など事業系のごみが増加しているとあり不法投棄の内容が変化していると感じます。

人見委員 そういった場合は県にご連絡ください。

事務局 現在は町で回収しています。
県で回収していただけるということでしょうか。

人見委員 行為者を特定します。日常的に回収してしまうと捨てる方も甘えてしまいます。捨ててはいけないと思わせるような厳しい対応をお願いします。

和田委員 ごみステーションへの不法投棄などもありますが、特定は難しいと感じています。

人見委員 監視カメラの設置や張り込みなども行っています。

田丸会長 県も協力くださるようなので、町だけでなく連携して進めてください。

●環境教育・学習

田丸会長 表彰制度について、推進委員会では「町の基準を設け、制度の創設を検討されたし」との意見がされていますが、審議会としてはいかがでしょうか。

人見委員 制度といっても重く考えずに、自然観察会や水辺の保全などを行っている方もいるようなので、そうした方を広く褒めるといった表彰で良いのではないのでしょうか。

加藤委員 町の表彰制度の中でも一般表彰というものがあります。日常的に継続して活動している方に対して表彰しても良いかと思います。

田丸会長 制度となるとどうしても、基準を設けてそれ以上という形になります。
事務局で検討をお願いします。

(2) 次期中井町環境基本計画の策定について

- ・これまでの実施施策の成果と評価について（資料4）

これまでの環境審議会において出された意見を事務局より説明

・施策体系の枠組みについて

国、県の動向を踏まえた、新しい環境像及び新規事業を事務局より提案（資料4-1）

新しい環境像の案を踏まえ、既存施策の統廃合及び新しい環境像への振り分けを事務局より提案（資料4-2）

田丸会長 既存の事業のうち8事業は廃止、その他の事業を取りまとめて16事業ということは資料で分かりました。

社会情勢や自然環境の大幅な変化を考え、これまでの10年を総括し、これからの10年を見通した時に、これまでの事業は統廃合されていますが、町として新たな事業の考えはいかがでしょうか。

事務局 近年話題となっている食品ロスについて、ごみの減量化も含めて考えていきたい。足柄東部清掃組合でも、年1回一般廃棄物中の食品ロスを調査する計画があります。

田丸会長 一般廃棄物の中に食品残渣があることが問題なのか、学校給食がたくさん残ることが問題なのか、また、食品をたい肥などとしてリサイクルするなどの

対策はあるかなど、町としてどうするかを考え方が大切になります。

食品ロスの問題を最初から大きく出すと難しくなるのではないかと思います。町としてできるレベルを考慮されて良いのではないのでしょうか。

事務局 当面はごみの減量化対策事業に含め、足柄東部清掃組合の調査結果により実態を把握してから事業の扱いを検討しても良いかなと考えます。

加藤委員 10年経過しての見直しではあるが、個別の事業の前に現計画の考え方を継続するのか、現在の状況に合わせて今後10年の考え方を改めていくかが大切になります。

人見委員 説明の中で国や県の話はありましたが、地域特有の施策や町としての意思をご提案いただきたいと思います。

田丸会長 まずは現計画の総括し、必要なものは何かをしっかりと考え、次期計画の理念を組み立ててから、新しい事業のプランニングに入っていくということでしょうか。

委員一同 (異議なし)

- ・環境意識調査の実施について(資料5)

次期計画策定のためのアンケート調査について事務局より説明

調査票については、案を作成して書面にて委員に確認する

- ・今後のスケジュールについて(資料6)

次期計画策定までのスケジュールを事務局より説明

平成31年度からスタートのため、30年度中に策定する

町独自の課題や計画の理念を示すため、9月頃に第2回審議会を開催したい

田丸会長 町独自の課題や町の理念をとという意見が出ましたので、これらを盛り込んだ素案を事務局に作成していただき、9月頃に審議会を開催してはどうでしょうか。

委員一同 (異議なし)

事務局 分かりました。

(3) その他

- ・事務局より

審議会の意見書については会長、副会長が確認し、町へ提出することとします。

平成30年度第2回中井町環境審議会

開催日時 平成30年9月13日 10時00分～11時10分

開催場所 中井町役場 3階 3A会議室

出席委員 和田信雄、尾上文男、小清水招男、加藤幸一郎、平井喜義
田丸重彦、人見孝、上原道由、竹内裕

事務局 武井環境上下水道課長、井上工務班長、朝倉主査

1 開会

環境上下水道課長 本日はお忙しい中、中井町環境審議会にご出席いただきありがとうございます

前回の会議では環境基本計画の改定にあたっての事業の統廃合の案を提示しました

今回は、計画の基本目標、また、今後の環境施策の方向性について事務局案を提示いたします

良好な環境を維持し、環境負荷の少ない持続可能な社会を実現することは、今後一層重要なこととなると感じています

次期計画を作成するにあたり委員の皆様のご協力をお願いします

2 あいさつ

田丸委員長 幸いこの辺りはありませんが、近頃日本では災害が多く発生しています
また、地震もいつ発生するか分かりません

計画とは、こうしたことに備え、人の安全・安心に結びつけることが重要です

前回の会議では、計画の改定の意義や、町としての理念といった部分が欠けていたかなと思います

本日はそうした部分を議事としていただきますのでよろしくをお願いします

環境上下水道課長 なお、本日は委員12名の内9名にご出席を頂いており、中井町環境審議会規則第4条第2項に規定されています「委員の半数以上の出席」を満たしていることから審議会が成立することを報告いたします。

それでは議題に入ります

審議会の規則により会長が議長となりますので、田丸会長に議事進行をお願いします

3 議事

(1) 次期中井町環境基本計画について

事務局より、「策定にあたっての考え方」（資料1）、「アンケート調査について」（資料2）

について説明

【質疑】

和田委員

自然環境の中の生態系についてですが、資料の中でも「継続的な調査、生態系の保全対策が必要」となっており、自然環境を守るために生態系を保護していくことは良く判りますが、最近、8月26日の5時30分頃、藤沢の暁橋下の河川をイノシシが歩いていたと聞きました

イノシシは夜行性と思っていましたが、新聞等によると近頃は鳥獣も生活を変えてきており、人を恐れることなく日中に出没し、人に危害を加えることも多くなってきています

こうしたことも計画の中で考慮していただきたいと思います

田丸会長

全体の計画の作り方なのですが、まだ町民の意見がないのですが、事務局の説明で現時点での気になる点、これからまとめていくうえで参考になる意見があれば承りたいと思います

例えば、基本目標案の中で「美しい自然」という言葉が出てきますが、資料1の4ページ「表1 現行計画で取り上げた課題と対応など」では、自然環境の中の山林・里山、農地について「仕組みの変更が必要」となっています

将来仕組みづくりをしていくという考えはわかるのですが、町の森林は民有地だと聞いています、山が緑で美しいのは外から見てのことですが、実際には管理されず荒れていること、また、それに伴う生態系の変化など、具体的に何が課題なのか、どの様に計画し実行していくかが重要になります

そのあたりの町はどのようにお考えですか

事務局

森林整備については、平成19年度から水源の森林づくり事業にて、計画的に間伐、下草刈りなどを行っていますが、町全域までは整備が行き渡っていません

また、全て民有林であり、整備後の管理を所有者にお願いしているところですが、実情は管理されておらず、一部はボランティア団体のご協力により管理がされていますが行き渡らず、課題となっています

田丸会長

県の取組があれば参考に教えていただきたいのですが、人見委員いかがでしょうか

人見委員

三浦半島の環境を担当していた際、所有者による管理がされていない森林や県有林があり、台風の度に山が崩れることがありました

そうした際に、県の仕切りで伐採や崩落防止をさせていただきますが、県の職員ではとてもできないので、2年ほど前に管理する団体を募りました

切った竹を活用したい、山を歩く道を整備したいなど様々な目的で、現在10団体ほどが活動しています

横須賀三浦地域県政総合センターに仕組みと活動状況が掲載されています
行政が全て管理することは現実的に無理なので、所有者との調整によりボランティア団体の活動の場を作り、また、ボランティアの方にもただやっ
てくださいではなく、表彰制度など褒めることで今後の活動に繋げることも必
要だと思います

田丸会長 ホームページで確認し、県へ問い合わせるなどしてみてください。

事務局 参考にします
町でもいくつかのボランティア団体が活動しているが、現状では森林の面
積が広く追いついていません

人見委員 団体の方に森林を見ていただき整備の優先順位を決めると良いかもしれま
せん

和田委員からイノシシについてのご意見がありましたが、人の生活する
ところと山林の境がきれいになっていない場合が多く、そういった箇所
の藪刈りなどは中学生にお願いしても良いと思います、鎌を使うとな
ると安全面で問題もありますが草むしり位ならできます、いろいろな人
を巻き込んでの活動も良いと思っています

鎌倉市でも中学生や高校生に活動していただき、鳥獣対策にも繋が
っています、行政としてもボランティアで対応できない木の伐採など
を行い、役割分担をしています

田丸会長 参考になるご意見ありがとうございます
あと、土対法による土砂災害危険区域指定は有りますか

事務局 何箇所か有ります

田丸会長 これについても、何らかの対策が必要ですね

平井委員 急傾斜地崩壊対策事業は毎年行っていますよね

加藤委員 それも土砂災害対策の中の一つです

事務局 あと、土砂災害崩落危険区域なども有ります

平井委員 急傾斜地対策は効果が高く、もっと推進してもらえればと思
います

事務局 事業化には要件が有ります

人見委員 町として順位付けをして進めていただければと思
います

加藤委員 町単独でなかなか出来る事業ではありません

事業化すると、本来は国、県の補助金の他に地権者も1割すること
になります、ただし、現状では住民の安全の観点から、これを町が
負担しています
区域については、住宅の数によって国や県の補助金の有無が生
じてきます

- 田丸会長 法律上は様々な条件があるようですが、事業は進めていただきたいと思います
事務局で、あと何かありますか
- 事務局 現行計画の基本目標は「中井町から地球への思いやり～地球に私ができること～」とかなり広い視野に立った目標となっています
次期計画においては、もっとコンパクトに地域に合った目標といたく、資料1の7ページにある4つの案を提示させていただきました
- 田丸会長 「今、私たちができること」というのは良いと思います
気になるのは、里都の「都」の字は無くても「さと」と読めますよね
- 事務局 「里都」は上位計画である町総合計画の言葉を採用しています
- 人見委員 今回、町概念である基本目標が示されたことは良かったです
基本計画を策定した後は、実行計画の策定があるのでしょうか
- 事務局 今回掲げた5つの望ましい環境像の中に個別事業を掲げ、指標を定めて推進していきますので、実行計画も兼ねた環境基本計画として考えています
- 人見委員 資料1の4ページに「表-1 現行計画で取り上げた課題と対応など」がありますが、これを細かく個別事業まで記載していくイメージでしょうか
- 事務局 はい、そうです
前回の審議会の中で個別事業の統廃合について説明しましたが、その基となる理念が欠けているとのご意見をいただきましたので、順序が逆になりますが、今回の説明となっています
- 人見委員 基本計画の中に概念や事業計画を入れ込んで、アンケートをしながら作り上げていくということですね
あと、次回の会議時で良いのですが、ごみの排出量が増えていることについて、原因究明してご説明をお願いします
併せて、町の事務事業の中で温室効果ガス排出量が増えています、平成28年度以降のデータと合わせて町の対策をお示ししていただきたいと思います
また、アンケートを送付するにあたり町の基本理念についての説明は有りますか
- 事務局 資料2-1のとおり、依頼文と町の環境要素の変化を合わせて送付する予定です
- 人見委員 町の基本姿勢を示せば、受ける方も同意や反対なども含めて意見がし易くなるのではと思いましたが
アンケートについては、事務局にお任せします

- 田丸会長 話は戻りますが、山林というと緑や景観の話が良く出てきますが、価値をどこに見出すかです
昔は生態系や農林業の話もありましたが、これからは緑に対して新しい価値を持たせたいと考えます
異常気象の多い中、土砂災害防止の効果や、二酸化炭素を吸収するという価値も有る訳です、吸収量を参考までに算出してみてください
- 事務局 次回会議までに算出します
- 田丸会長 次回以降のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします
- 事務局 アンケートの期限は10月11日までにポストへ投函としています
その後、取りまとめ期間を1か月いただき、7次回の会議は11月中旬以降に、アンケートの集計結果と次期計画の素案を議題として開催を予定しています
- 加藤委員 アンケートについてですが、中学生は一般町民と同じ内容とのことですが、中学生や町民が町の環境についてどう考えているのか、言葉で意見をいただくこともあっても良いのでないかと思えます
そうした中から計画づくりに参酌できる意見もあるかもしれません
- 事務局 アンケートについては、自由意見を記載する欄を設け、また、人見委員からご意見いただきました、町の理念を通知のなかで記載することとします
- 田丸会長 では、議事は以上とし、事務局にお返しします
- 事務局 次回会議は11月中旬を目途に開催を予定しています
また、本日の議事録については事務局で作成し、会長、副会長にご確認いただいたうえで委員の皆様へ送付します
本日はありがとうございました

平成30年度第3回中井町環境審議会

開催日時 平成30年11月15日 10時00分～11時30分
開催場所 中井町役場 3階 3A会議室
出席委員 和田信雄、尾上文男、小清水招男、加藤幸一郎、荘司勝
田丸重彦、米山伸、上原道由、竹内裕、高野幹夫
事務局 武井環境上下水道課長、井上工務班長、朝倉主査
傍聴者 2名

1 開会

環境上下水道課長 本日はお忙しい中、中井町環境審議会にご出席いただきありがとうございます

前回の会議では、環境基本計画の改定にあたっての基本目標及び施策の方向性の案をお示ししました

今回は、前回の会議で頂きました指摘事項への回答及び、町民、事業所、中学生を対象に行いましたアンケートの結果、また、次期計画枠組みについて事務局案を提示いたしますので、皆様からのご意見、よろしく願います

2 あいさつ

田丸委員長 本日は計画の方向性を決める重要な会議ですのでご協力をお願いします
中井町は環境が良いなと感じていますが、私は暮らしていないので実情は分かりません、皆様からのご意見をよろしくお願いします

環境上下水道課長 なお、本日は委員12名の内10名にご出席を頂いており、中井町環境審議会規則第4条第2項に規定されています「委員の半数以上の出席」を満たしていることから審議会が成立することを報告いたします

それでは議題に入ります

審議会の規則により会長が議長となりますので、田丸会長に議事進行をお願いします

田丸委員長 議事に入る前に、傍聴者が2名いますが規則で何かありますか

事務局 ありません

3 議事

(1) 前回審議会での指摘事項について（資料1）

事務局より、「前回審議会での指摘事項」（資料1）について説明

【質疑】

- 田丸会長 町域の3割が森林であることが確認できます
中身を見ると広葉樹林が多く、天然林ではありません
スギ、ヒノキも多く、ほとんどが民有林です
竹藪が増えているようにも思えます
二酸化炭素の吸収量としてはそれほど多い量ではありません
これらを踏まえ、意識づけも有ると思いますがどう手を打つかということ
ですが、これらのデータを参考としてください
- 田丸会長 町の事務事業における温室効果ガスの排出量は水道事業が増加している
のことですが、これは下水道にも影響してくるということですね
- 事務局 はい
- 竹内委員 水道の大口需要者が来たことにより税金も大きく増となっているのですか
温室効果ガス排出といったマイナス面ばかりではなく、全体のバランスで
プラス面もあるのではないのでしょうか
- 事務局 企業が立地したことにより税金が増えていることは間違いありません、また、
上下水道料金も増収となっています
- 田丸会長 良い面も悪い面もありますが、出来るだけ温室効果ガス排出の抑制に努め
ていただければと思います

(2) アンケート調査結果について

(3) 次期環境基本計画の枠組みについて

事務局より「アンケート調査結果」（資料2）、「枠組み資料」（資料3）について説明

【質疑】

- 上原委員 前回と比べ全体的にアンケートの回収率が低く、特に事業所が低くなって
いますが、町として考えられる理由や改善策はありますか
- 事務局 結果的に低かったのですが理由は分かりません
- 高野委員 事業者の立場でアンケートの結果を見ると、満足度で事業者と町民、中
学生で差があります
町民、中学生は満足度が低く、厳しく見ているのかなと思います
事業者はほとんどが町外から通っているので関心が低いかなとも思います
実際に住民から何らかの方法で意見や要望が挙がっているのでしょうか

- 事務局 満足度の低い項目としては「農地の管理状況」「地球温暖化対策の取組」「町からの環境に関する情報の提供」などとなっています
耕作放棄地に関して、農業委員会が調査を行っていますが、以前より増えている状況で、担当課としても苦慮しているところです
この件については、町民からも意見が寄せられており町も問題として認識しています
- 高野委員 農地の管理状況については、町民全員の関係することではないと思います
特に、中学生がそこに興味が有るかという点と疑問があります
例えば、町民全体に関係するであろう「まちの清潔さ」「まちの静けさ」といったことについて意見は無いのでしょうか
また、町民の意見を随時受け付ける仕組みはあるのでしょうか
- 事務局 アンケートの中で、町民からの重視すべきと思うことについて自由記載であげられた内容が資料2の9から10ページに記載されています、かなり幅広く意見がされていますが、こういった内容が町民が求めている事項ではないかと思えます
意見を聞く仕組みとしては「私の提案」という制度が有ります
その中で、頂いた意見を担当課から回答しています
- 竹内委員 その中で多くの意見が挙げられていますか
- 事務局 年間数件程度です
- 和田委員 基本目標の案についてですが、アンケートの結果を見ると不評のように思えます、特に中学生には不評なのではと思います
町民についても6割を超える賛成が得られていますが、変えた方が良さのだけれどどう変えたらよいか提案ができないといった消極的な賛成も有るような気がしますので、結果として大半がこれで良いと思っている訳ではないと思います
私としては中学生の意見が本音かな、ハートマークは少し幼稚な気がします
- 田丸会長 資料3の22ページ以降、個別事業について次期計画での対応等が示されています
今後審議していく素案のベースとなりますので、ご意見をいただきたいと思えます
- 和田委員 不法投棄対策事業についてですが、アンケートでも全体的に関心が高く、対応の中で罰則なども検討していくとあり、ぜひ推進していただきたいと思えます
- 田丸会長 ごみ減量化対策で今、マイクロプラスチックが話題となっていますが
プラスチックごみを減らすということは、町民一人ひとりが実践すれば出来ることです

レジ袋も法律が変わって有料化されるようですし、検討してみてもいいでしょうか

事務局 県でもレジ袋削減や、鎌倉海岸に上がったクジラの死体に大量のプラスチックが含まれていたことから、プラごみ削減の取組も進めています
そういった動きに合わせて、検討していければと思います

田丸会長 森林についてですが、まだ天然林という言葉が残っていますが、実際にはないものと思いますが、言語としては森林、里山などが良いのでしょうか、いかがですか

事務局 天然林保全事業は、他の関連事業と合わせて森林等保全事業に統合していますので、その中で、水源林、竹林、里山などと合わせて表現を検討していきたいと思います

田丸会長 森林のデータの中でヒノキが有りますが、特にまとまったヒノキ林が有りますか

事務局 分かりません

田丸会長 もしそういったものがあれば、雑木林とは違いますから、残していくそれなりの方法は有るのではないかと思います

加藤委員 五所八幡宮の裏、また、松本地区でも植林されて森林が有ります
そういったところは、例えば、神社と森林を一体として見せるような管理を町でしていくということもあると思います

田丸会長 あと、竹藪をどうしていくかという課題も有りますので、事務局で検討してみてください

田丸会長 気象観測については、自然観察の一環として学校などで行うことはできないですかね

気象データがいつも横浜や小田原のものなので、取り組んでも良いのではないかと考えますが

山に囲まれ南側は海です、台風による南側からの風では塩害も考えられず、環境学習としていかがでしょうか

ボランティアでも構いません、町民に参加していただく一つの方法として検討してみてください

事務局 他の事例等も踏まえ検討します

田丸会長 ごみの分別について、問題点や町民からの意見等は有りますか

事務局 言葉の問題で外国人対応は課題となっています

田丸会長 私の住んでいる町田市では、ごみ収集カレンダーが配布されごみの種類別

の収集日が分かるようになっていますが、また、資源ごみは集積所での回収ですが、燃やすごみは戸別回収となっています
ごみ減量の方法が何かあるでしょうか

事務局 町では、町田市同様ごみカレンダーの他にごみの出し方ガイドという冊子を全戸に配布しています
また、町のホームページから「ごみサク」というサイトへリンクし、分別方法が見られるようになっていました
また、外国人については、該当地区の集積所に外国語でごみの出し方を掲示するなど、個別に対応をしています

事務局 基本目標についてですが、事務局案についてアンケートで多くの意見が出されていますが、委員の皆様いかがでしょうか

田丸会長 次回審議会までに作成する計画素案の中で、事務局から案を出していただき、全体の中で決めていけばよいと思います

事務局 では、アンケート結果等を踏まえて、次回素案の中で基本目標についても議論していただくこととします

加藤委員 アンケートは一部の対象に行っているものです、アンケート結果から決めていくのではなく、あくまで参考意見とし、町で基本目標を決めていった方がよいのではないのでしょうか
私が考えるに、自然を見て美しいなどと感じるだけでなく、何かそのために取り組んでいけるような基本目標となると良いかなと考えます

事務局 現在の基本目標が「中井町から地球への思いやり～地球に私ができること～」と広い視野に立ったものでした
次期計画では、もっと町に目を向けた目標にしたいと考えていますがいかがでしょうか

加藤委員 何か行動に繋がるようなインパクトのある目標が良いのではないのでしょうか

米山委員 アンケートの中で基本目標について中学生は無回答が多い結果となっていますが、中学生も半分大人ですので反対であれば意見を表明し、無回答は関心が低いということではなく、暗に賛成していると捉えて良いのではないかと思います

田丸会長 では、今までも出た意見等も踏まえて事務局で案を作成してください
本日の議事はこれまでとし、事務局にお返しします

事務局 今後のスケジュールについて、パブリックコメントを12月1日の町広報紙で予告し、1月21日から2月9日で行います
このため、素案を作成し、年内に次回審議会を開催したいと考えていますので、引き続き委員の皆様のご協力をお願いします

平成30年度第4回中井町環境審議会

開催日時 平成30年12月20日 10時00分～11時15分

開催場所 中井町役場 3階 3A会議室

出席委員 和田信雄、尾上文男、小清水招男、加藤幸一郎、平井喜義

田丸重彦、米山伸、上原道由、竹内裕、高野幹夫

事務局 武井環境上下水道課長、井上工務班長、朝倉主査

1 開会

環境上下水道
課長 本日は年末のお忙しい中、中井町環境審議会にご出席いただきありがとうございます
ございます

前回の会議では、町民、事業所、中学生を対象に実施した環境意識調査の結果報告、また、次期計画の枠組みについて委員の皆様からご意見をいただきました

今回は、次期計画の素案、基本目標、また、計画策定までのスケジュールについて説明しますので、皆様からのご意見、よろしくお願ひします

2 あいさつ

田丸委員長 計画の素案が出来ました

パブコメの日程が決まり日程が詰まっていますので、本日は皆様から積極的なご意見をいただき、まとめていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします

環境上下水道
課長 なお、本日は委員12名の内10名にご出席を頂いており、中井町環境審議会規則第4条第2項に規定されています「委員の半数以上の出席」を満たしていることから審議会が成立することを報告いたします

それでは議題に入ります

審議会の規則により会長が議長となりますので、田丸会長に議事進行をお願ひします

3 議事

(1) 次期計画素案について

事務局より、資料「中井町環境基本計画（素案）」、「基本目標について」を説明

基本目標は資料「基本目標について」にて事務局案を提示した

【質疑】

- 田丸会長 基本目標の案が前回から修正されて示されました
 計画の内容と一致しているかどうか、また、言葉を変えた方が良いかなど、
 皆様いかがでしょうか
- 和田委員 アンケート結果では町民の賛成が約6割ですが反対の意見も多くなってい
 ました
 今回修正された案は多くの意見を取り入れ、計画の内容との整合性もとれ
 ており、前のものより良くなっていると感じます
- 田丸会長 私も和田委員の言われるとおり今回の案は計画の内容と一致していると思
 います
 また、「今 私たちにできること」の内容が計画に細かく記載されていると
 感じました
- 平井委員 素案13ページの農地について足柄上商工会のデータとしているが、農地
 のデータとしていかがなものか
- 事務局 足柄上商工会で管内各町の耕作放棄地を記載したデータがあり、採用しま
 した、数字も含め再確認します
- 加藤委員 商工会ではなく、町として把握しているデータを示すべきだと思います
- 田丸会長 事務局で確認して、修正があれば対応をお願いします

(※ 確認の結果足柄上商工会のデータは農林業センサスから引用していました)

- 田丸会長 前回審議会で話題になったプラスチックごみについては、レジ袋削減も含
 めて記載されています
 中井町は容器プラを分別することとしているので、ごみにならない仕組み
 ができています、問題はきちんと分別して出されるかどうかです
 資源物が減っている現状もありますので、基本目標の「今 私たちができ
 ること」を徹底すれば上手く回っていくと思います
- 和田委員 プラについては、例えばチューブの中身が残っているものなど、汚れたも
 のが混ざると分別が悪くなってしまいますが、燃やすごみとして排出すると
 ごみの減量が進みません
 町民の多くはごみ分別にしっかり取り組んでいるのですが、国の施策とし
 て、中身を使い切れる容器や洗いやすい容器の開発など経済優先ではなく環

境面への配慮をお願いしたいと思います

町も計画に盛り込みだけでなく、他の自治体と連携するなどして国に申し入れをして欲しいと感じます

田丸会長 前回の計画策定時から大きく変わった点としてはマイクロプラスチックの問題がありますので、話題としました

基本目標については、事務局案でいかがでしょうか

平井委員 良いと思います

加藤委員 アンケートの中で町民の6割が前回案を良いとしており、また、上位計画である総合計画においても「里都」という言葉が入っていることも、自然だけでなく町の環境を維持していこうというイメージがあります、これを皆さん一人ひとりで実行していこうということであれば、少し長くなりますが目標の中に「里都まちなかい」を入れての未来へ繋ぐ環境づくりとしても良いのではないのでしょうか

田丸会長 「今 私たちにできること」というのが大事です、その前の分は少し長くなっても良いかなとは思いますが

平井委員 確認ですが、素案30ページの太陽光発電システムについては家庭用のものですか

事務局 はい、そうです

平井委員 農業委員会の案件である「ソーラーシェアリング」とは関係ないのですか

事務局 家庭用ではないので関係ありません

ソーラーシェアリングについては、規模からいえば家庭用よりエネルギーとしては効果は大きいのですが、家庭用がその住宅で発電した電気を使用するのに対して、売電のための設備になります

平井委員 ソーラーシェアリングは県下で中井町が一番多く、国も推奨しています

田丸会長 耕作放棄地も含めて設置されているということですね
売電用ということですね

平井委員 そうです

耕作放棄地は分かるが中井町は優良農地に設置されており、まだ、増え続けています

田丸会長 ソーラーシェアリングが事業として成り立つかどうかは疑問がありますがこの件については、法律の問題もあります

規制するかどうかは、町の条例ではできない問題です

平井委員 景観の問題もあり気になっています

- 田丸会長 今の法体系の中で届出による許可制になっていると思いますが、実態として弊害が起きているのでしょうか
- 平井委員 近隣の土地所有者の同意を得て設置しているとはいえ、弊害とは言わないまでも景観が気になります
届出に不備がなければ許可されてしまうのですが、まだ増え続けていることが心配ではあります
- 加藤委員 環境の視点で見た場合、景観も環境です
中井町の持つ自然の景観も環境、温暖化対策のためのエネルギー事業も環境です、両面から見てどうかというのも難しいですが課題です
- 田丸委員 所管が違いますので、別途確認としてください
余り増えすぎてもというのもありますので、計画の別添資料などでの対応をお願いします
本計画については、エネルギーの地産地消ということで家庭用への補助を継続していくことで良いと思います
- 竹内委員 鳥類は光るものに対しては全くダメで、境別所地区にできたソーラーの箇所は急激に鳥が減った印象があります
- 田丸会長 基本目標はいかがでしょうか
長くなりますが、里都まちなかいを入れるかどうかですが
- 平井委員 入れていない、今の案が良いと思いますが
- 田丸会長 上位計画で「里都まちなかい」を作ろうと言っているのですが、この計画では「未来へ繋ぐ環境づくり」が「里都まちなかい」を作ることという解釈もできます
分かりやすく、事務局案にてパブリックコメントに諮りたいと思いますが、いかがでしょうか
- (一同同意)
- 田丸会長 他に意見がない様ですが、事務局から資料の「中井町環境基本計画（素案）に対する意見」について説明をお願いします
- 事務局 本審議会の中で素案のすべては説明できていないこともありますので、資料をお持ち帰りいただき、内容についてご意見等ありましたら添付の「中井町環境基本計画（素案）に対する意見」を事務局までご提出ください
提出期限は12月27日とします
今回の審議会の内容と、皆様からの意見を踏まえ、パブリックコメントとして公表する素案を完成したいと考えていますので、よろしくお願いします
- 田丸会長 いただいた意見への対応については、事務局と会長、副会長に一任いただ

きたいと思いますので、よろしくお願いします

事務局 素案の中で年号について元号と西暦を併記していますが、平成は31年4月で終わります、この点について皆様のご意見をいただければと思います

平井委員 平成は終わるのが分かっているので、西暦で良いのではないのでしょうか元号が変わる前にこの計画は完成しますか

事務局 平成31年3月の策定なので、新元号が分かる前になります

田丸会長 町の文書はどうなっていますか

事務局 決まりがありません

田丸会長 町全体としての公文書の問題だと思いますので、事務局で役場内の確認をお願いしたいと思います

事務局 分かりました

(2) 今後のスケジュールについて

事務局より資料「中井町環境基本計画策定スケジュール」について説明

事務局 パブリックコメントの予告を12月1日の町広報紙に掲載しています
本日の審議会を経て、12月27日までに委員の皆様からご意見をいただき、素案を修正し1月21日に公表、パブリックコメントを2月7日まで行います

パブリックコメントにて出された意見を事務局で整理し、計画の最終案を作成、2月下旬に次回の審議会を開催する予定です

次回の審議会にて最終案を審議した後、審議会から町への意見書を提出し、3月上旬に計画の策定、公表の予定となっています

田丸会長 次回の審議会は2月下旬に開催予定です
本日予定の議事は終了しましたので、事務局にお返しします
皆さま、引き続きよろしくお願いします

事務局 議事の中でもありましたが、本日の資料の素案についてご意見等ありましたら、12月27日までに意見書のご提出をお願いします

また、パブリックコメントを1月21日から2月9日で行い、次回の審議会は2月下旬開催の予定ですので、よろしくおねがいします

本日はありがとうございました